

# WAKAYAMA AZALEA ROTARY CLUB



## Weekly Report

VOL. 14 No. 44 TOTAL 606 平成24年6月18日 第624回例会

[例会日] 毎週月曜日 12:30~13:30

[例会場] 和歌山市湊通り丁北2-1-2 アバローム紀の国

[事務局] 和歌山市雑賀屋町52 南方ビル2階 (〒640-8249)

TEL073-435-3470/FAX073-435-3472

E-mail: wa-az-rc@naxnet.or.jp

会長/後和 信英 [会報委員] ○宮本 和彦  
副会長/西田美恵子 ○南方 孝一 田邊 和喜  
幹事/小形みちる 足立 聖子 松本 博



2011-12年度  
国際ロータリーのテーマ

こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

Reach Within to Embrace Humanity

R I 会長 カルヤン・パネルジー

2011-12年度  
アゼリアロータリーのテーマ

おもう  
『ロータリーの原点を回想』

### ＜本日の例会＞

■ 第624回例会 6月18日(月)

- ☆「ワンワン基金」贈呈式  
社会福祉法人 日本ライトハウス
- ☆外部卓話「盲導犬について」  
社会福祉法人 日本ライトハウス
- 専務理事 橋本 照夫様

\*例会終了後 13:40~14:40  
次年度第2回クラブ協議会(次年度各委員会事業計画発表)

### ＜次回のお知らせ＞

■ 第625回例会 6月25日(月)

- ☆最終夜間例会 「一年を振り返って」
- 会長 後和信英 会員 幹事 小形みちる 会員
- 場所: ホテルアバローム紀の国11Fツインバード
- 時間: 18:30 ~ 20:30

### ＜前回の例会記録＞

- ローターソング 四つのテスト
- ゲスト紹介 和歌山からJリーグチームをつくる会 アルテリーヴォ和歌山  
ゼネラルマネージャー 児玉佳世子様  
キャプテン 阿部 巧也様  
GK 斯波 薫様
- ビジター紹介 なし
- 出席報告 会員数35名 内出席免除2名  
本日の出席(6/11) 25/35名 71.42%  
前々回修正出席(5/28) 28/35名 80.00%
- メイクアップ 役員及びクラブ行事へ 4名

### ＜四つのテスト＞

言行はこれに照らしてから

- I. 真実かどうか III. 好意と友情を深めるか
- II. みんなに公平か IV. みんなのためになるかどうか

### ●市内9ロータリークラブ例会情報

クラブ名	日時	内容
和歌山北	6月18日(月)	例会臨時変更:夜間例会19:00~ホテルグランヴィア和歌山
和歌山	6月19日(火)	「2012~2013年度委員会別フォーラム」
和歌山サンライズ	6月19日(火)	
和歌山東南	6月20日(水)	
和歌山西	6月20日(水)	テーブルミーティング~最終回~
和歌山東	6月21日(木)	卓話「米山記念奨学生の私と母国ラオス、小学校への貢献」
和歌山城南	6月21日(木)	会員卓話「ちよつといい話」
和歌山南	6月23日(土)	紀南地区応援 移動例会 かつうら御苑17:30~
和歌山中	6月22日(金)	クラブフォーラム

### ○ 会長報告



会長 後和信英

皆様こんにちは。本日は、和歌山からJリーグをつくる会 アルテリーヴォ和歌山のゼネラルマネージャー 児玉様、キャプテンの阿部様、GKの斬波様 ようこそお越し下さいました。後ほど、卓話よろしくお祈りいたします。我がクラブ、アゼリアの小形幹事の事業所「フリージア」が、ユニフォームスポンサーとして、袖の方に広告を出して協力しています。キャプテンの阿部様もフリージアの方に勤務しています。これこそ、“袖振り合うも他生の縁” と思います。テレビでもご存知かと思いますが、サッカーは、時には、人と人がぶつかり合うスポーツで、れっきとしたルールのある格闘技だと思います。本日ご出席の阿部様、斬波様も、怪我のない様、心よりお祈り申し上げまして本日の報告とさせていただきます。ありがとうございました。

### ● 幹事報告



幹事 小形みちる

こんにちは。前回の東日本大震災の募金額は15,150円でした。先日の旭学園の訪問のお礼状が届いておりますので回覧いたします。そして、本日は和歌山からJリーグをつくる会、アルテリーヴォ和歌山の皆様 ようこそ！週末の悔しい試合を乗り切り、夢実現に向けて頑張ってください。以上です。



## 委員会報告

◎雑誌・広報・IT委員会

中村善夫会員



6月号「ロータリーの友」読みどころ紹介

始めに、この一年間、ロータリーの友の記事を紹介させて頂いてまいりましたが、私の個人的な趣味を押し付けたような気がしております。ご勘弁を願います。また、お聞き苦しいところや分かりづらいところがあつたにもかかわらず月に1度、会員の皆様の前でお話をさせていただき、誠に申し訳なく、また、ありがたく思っております。ありがとうございました。

それでは横組みより

5頁から、「趣味で広がる親睦の輪」と題して、ロータリー親睦活動グループの様々な活動内容が紹介されております。みんな、すごくお金持ちみたいでウラヤマシイ。でも、9頁の一番最後の日本ロータリー・ハムクラブはイイ感じです。

18頁に、「ロータリーの友を語る」と題して、ロータリーの友の雑誌としての意義や有用性についての話し合いの内容が掲載されております。28頁に2640地区の東日本大震災に関する活動内容が報告されております。

40頁には、2640地区の地区大会が掲載されております。44頁の日本ロータリー写真館で、60年前の第60地区の地区大会の写真と大会プログラムが載っておりますが、第2日の11時55分にアメリカの大使が挨拶しております。凄いですネエ。

最後に46頁の「はじめの一歩」に、ロータリーの徽章(キシヨウ/バッジのこと)についての記事に、ケンタッキーのカーネルおじさんの襟にもロータリーのバッジが付いていると書かれています。そうなる、皆様にご報告せねばなりません。朝から自転車で元寺町のパチンコ屋さんの北隣りのケンタッキー

へ行ってきました。ありました。確かにありました。但し、今私たちが使っているのと同じバッジが付いておりました。

横組みの紹介が多くなったので、縦組みは2つ

2頁からの「いのちをつなぐもの」という記事で、ふむふむと呼んでいたところ、6頁の最後あたりでちょっと泣きそうになりました。14頁から「言いたい・聞きたい」は、なかなか過激になってきました。僕は個人的に16頁の『「四つのテスト」に財団の投資を照らす』が、特に面白かったです。

## 外部卓話

「Jリーグチームのある街を夢見て」

～和歌山にホームタウンの躍動感を～

和歌山からJリーグチームをつくる会

アルテリーヴォ和歌山

ゼネラルマネージャー 児玉佳世子様



NPO法人和歌山からJリーグチームをつくる会 副理事長

同時に 同法人が運営するサッカーチーム アルテリーヴォ和歌山 の

ゼネラルマネージャー 児玉佳世子です。

本日、このような場でお話をさせていただけることを光栄に思います。

本当にありがとうございます。

早速ですが

皆さまJリーグご存じでしょうか

試合を観戦された ご経験のある方はいらっしゃいますでしょうか

私たちの活動は 2005年に 任意団体 和歌山からJリーグチームをつくる会から始まりました。

なんでも 物事を 始めるからにはきっかけがあります

夢と現状のギャップとそして課題の発見

なんだか大げさな表現ですが

私の場合は、サッカーをしたこともないただのサッカーファン

テレビで観ているだけの時はチームをつくるなんてまして、Jリーグを目指すなんて想像もしませんでした。

それから、あるJリーガーのファンになってスタジアムに足を運ぶようになりました。

それでも、サッカーを見る、応援するだけ

だけど、これが、とっても素敵な気分になるんです  
スタジアムに観戦に行く日は、一日中ワクワクです  
町の雰囲気、スタンドの熱気 応援席の一体感

そこにいるだけで幸せでした。

けれど

そこは、和歌山じゃなかったんです

遠い 横浜のチームです

横浜のホームゲーム、アウェイゲーム

※ホームゲーム そのチームの拠点となる町で開催される試合 (⇔アウェイゲーム)

幼い子どもを連れて飛行機で日帰りもしました。

「夢の世界」に行くには旅費を作らないといけなかったので、子育てしながら一生懸命働きました

とっても素敵な気持ちになる一方ふるさと和歌山へ帰ってくると空気はいい

緑は綺麗

食べるものは美味しい

けれど

あの ワクワクする 活気、躍動感を感じる事ができない。

そんなギャップを少し寂しく思いました

そして、もうひとつ寂しく感じたのは子どもたちのスポーツ環境の貧弱さでした

今でも中学校のサッカー部は指導者不足で困っていると聞きます。

私の子どもの中学時代も外部コーチに頼り、指導者

は不安定で常に廃部の危機に瀕していました。

部員だけで走るだけの日も長く続きました。

無理ありません。学校の部活は、指導のできる先生がいればラッキーという状態。

ましてサッカー指導で生活できるコーチなど、和歌山では皆無に近い状況でした。

スポーツは 健康のための生涯スポーツの側面も強いですしこれはこれで大切です。

だけど

子どもたちが一生懸命な姿を見るにつけ夢や希望を持ってサッカーを続けられる土壤があれば…

と、常々考えるようになり

それにはやっぱり、地域の人々がサッカーをもっと身近に楽しめる文化が必要だという思いが強くなりました。

子どもたちと一緒に全国各地へ観戦に出かけた原動力。

ホームゲームのある日の、街の熱気と躍動感。

やっぱり、Jリーグチームのある街だ！

サッカーは、する人も観る人も、それを支える人も、みんな大切でそしてハッピーになるスポーツだと信じています。

高校野球の応援に甲子園にも行きました

ラグビーも花園で応援しました

もちろん、すごく楽しいです。

じゃあ、私がなぜJリーグの応援にハマったのか

サッカーの応援スタンドは、イコールその町の応援団です。

応援ソング

サポーターのコール

その中には自分が住む地域の名前が連呼されます。

たとえば、アルテリーヴォの応援には『和歌山』という言葉が何度も何度も出てきます。

サッカーの応援だけです。これほど故郷の名前を連呼するのは。



ピッチを駆ける選手に力をあげようと、老若男女が声を拍手を送ります。

ピンチの時のドキドキ感、それを凌いだ時の安堵、ゴールの瞬間の興奮

そして、終了のホイッスル。

ピッチとスタンドが一体になって、ともに戦い抜いた90分。この感動と興奮はスポーツで、もっと言えばサッカーでしか味わえません。

※ ピッチ サッカーの試合をする芝生コート

「スポーツは町をチームにしてくれる」

これは、Jリーグのスローガンの一つです。

アルテリーヴォの選手たちは普段は働きながら、夜に練習、休日には試合 試合の無い日は地域のボランティア活動をしています。

チーム発足当初よりサッカー選手としてピッチで結果を出すことはもちろん職場や地域においても、必要な存在となれるよう日々 自分を磨くことを大切にしています。

どんなに強いチームになっても、勝って共に喜んでくれる人がいなければ意味がありません。

児童施設で定期的にサッカーを開催し

地域清掃ボランティアなどにも参加します

昨年の台風12号の災害の際には、彼らは自主的に泥はけの手伝いに出かけました。

チーム設立3年目にして出場した天皇杯本戦には出前サッカー教室をしている施設の子どもたちも大勢スタンドに来てくれました。

有料試合にもかかわらず応援スタンドは1122名と、その年の1回戦（通常はその半分も入りません）では全国で4番目の集客でした。

自分のファンは自分で作る。

選手が地域に愛されアルテリーヴォ和歌山というチームが地域に愛されること。

私たちは、これを大切に

ふるさと和歌山を躍動感あふれるホームタウンにし

ていきたいと思っています。

その夢の実現に向けて

ひとりでも多くの皆さまに、このチームと一緒に育てていただきたいと思います。

皆さま、ぜひ一度会場に観戦にお越しください。

本日はありがとうございました。



### S・A・A 報告 【3つの箱】

#### \*ニコニコ箱

三木民生会員 “核廃棄物処理の問題を解決することなしに、いつまでも原子力発電を続けることはできない”という視点は現在の最重要課題と確信します。

後和信英会員 本日は和歌山からJリーグをつくる会、アルテリーヴォ和歌山の児玉様、阿部様、斯波様、ようこそお越し頂きました。本日の卓話よろしくお願いたします。

小形みちる会員 本日はアルテリーヴォ和歌山の皆様、ようこそ。この後の卓話楽しみにしています。

本日合計額 10,000円 今年度累計額 1,226,000円

#### \*ロータリー財団

小形みちる会員 三木民生会員

本日合計額 3,000円

#### \*米山奨学

小形みちる会員 三木民生会員

本日合計額 3,000円